

科 目 名	疾患病態治療学特論				
担 当 教 員 名	教授 脇屋 義文 教授 加藤 宏一 教授 鬼頭 敏幸 准教授 梅村 雅之 講師 上井 優一 講師 巽 康彰	単位数	講義 2	配当学期	秋学期
講 義 の 概 要	本講義では疾患と薬物治療の知識をベースに、最新の病態学的なメカニズムや薬物の作用機序を学び、薬物療法の知識、薬学的アプローチによる薬物療法支援を修得する。 (オムニバス方式/全 15 回)				
講 義 の 内 容 ・ ス ケ ジ ュ ー ル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児における抗がん剤治療の進歩 2. 小児リウマチ疾患治療の生物学製剤の歴史と進歩 3. 先天性代謝異常症と病因・病態その薬物治療 4. 糖尿病およびメタボリックシンドローム 5. 経口血糖降下薬のポジショニング 6. 糖尿病および糖尿病合併症の成因と治療 7. 薬物治療と医薬品情報① (医薬品適正使用からの薬物療法支援) 8. 薬物治療と医薬品情報② (リスクマネージメントからの薬物療法支援) 9. 後発医薬品評価と薬物治療 (医療経済の面からの薬物療法支援) 10. 遺伝性肝疾患の遺伝子解析 11. 遺伝性肝疾患の分子機構 12. 薬物排泄の分子機構① 13. 薬物排泄の分子機構② 14. 薬物治療と医療器材① (取扱いにおける医療過誤) 15. 薬物治療と医療器材② (医薬品の相互作用と最近の動向) 				
評 価 方 法 (基 準 等)	レポートまたは口頭試問、討議により各教員毎 100 点満点で成績を付け、最終特論責任者が 100 点満点として評価。				